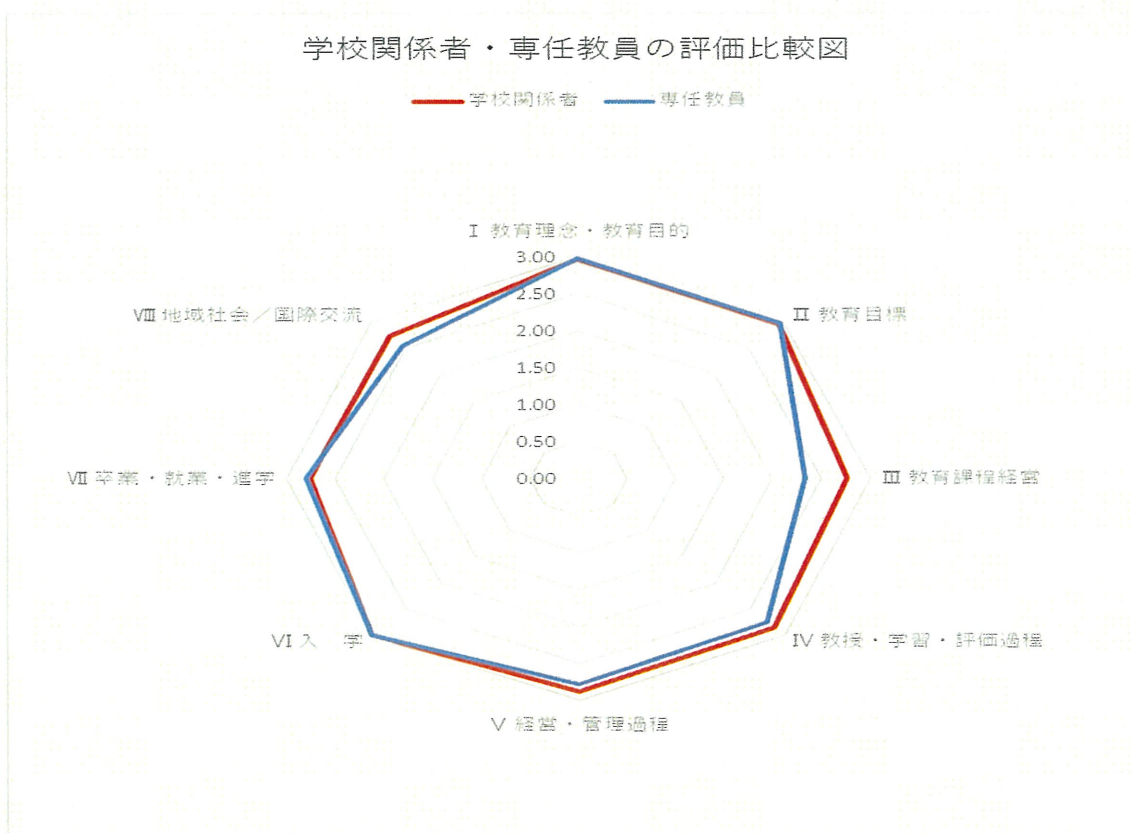


## 令和6年度学校関係者評価項目における評価の結果報告

学校関係者と専任教員による自己評価との比較を行ったところ評価学校関係者の評価平均は2.86、専任教員2.77で2.5以下の項目はなかった。評価項目において、0.5以上の差がある項目は見られなかった。

	学校関係者	専任教員
I 教育理念・教育目的	2.96	2.97
II 教育目標	2.95	2.96
III 教育課程経営	2.76	2.34
IV 教授・学習・評価過程	2.85	2.76
V 経営・管理過程	2.89	2.79
VI 入学	3.00	3.00
VII 卒業・就業・進学	2.76	2.63
VIII 地域社会・国際交流	2.73	2.68
評価平均	2.86	2.77



## I 教育理念・教育目的

### 1. 学校関係者評価 2.5 以下の項目 なし

概ねよい評価であった。

### 2. 学校関係者の評価が教員の評価より低い差がある項目

I-5 教育理念・教育目的は、社会的ニーズ・学生の背景の変化・医療及び看護学の発展などを踏まえ、社会に対する看護の質を保障するに妥当である。(差-0.2)

時代とともに変化する学生の背景の多様化への対応も検討が必要かもしれない。

## II 教育目標

### 1. 学校関係者評価 2.5 以下の項目 なし

概ねよい評価であった。

### 2. 学校関係者の評価が教員の評価より低い差がある項目

II-3 教育目標は、教育内容を網羅し、かつ最上位目標として教育活動のゴールが読み取れるように示している。(差-0.1)

II-4 教育目標は、具体的に到達可能な目標として明示している。(差-0.1)

目標に対し学年目標が到達に達していないように感じる。

## III 教育課程経営

### 1. 学校関係者評価 2.5 以下の項目

III-14 教員の自己研鑽システムを整えている。(2.3)

III-15 教員の相互研鑽のシステムを整えている。(2.3)

時間の確保が難しそう・時間の確保の必要性を感じる。システムはあるが本当に利用されているかは不明である。専任教員の研修計画をし、キャリア向上を目指す仕組みはよく分からなかった。

### 2. 学校関係者の評価が教員の評価より低い差がある項目

III-14 教員の自己研鑽システムを整えている。(差-0.2)

III-21 学生に対する安全教育・安全対策を計画的に行っている。(差-0.03)

安全教育の時間は確保されていると思うが対策はどのようにされているか？

## IV 教授・学習・評価過程

### 1. 学校関係者評価 2.5 以下の項目 なし

概ねよい評価であった。

2. 学校関係者の評価が教員の評価より低い差がある項目

IV-1 講義担当科目・単元は、そのままとりの考え方を明確にし、授業科目目標との整合性をもっている。(差-0.03)

非常勤講師の立場からは他の関連する単元との整合性が見えづらい。

V 経営・管理過程

1. 学校関係者評価 2.5 以下の項目

V-12 学生及び教職員にとっての福利厚生設備を整備・改善している。

限られた空間ではあるが、学生にも教職員にも交流したり、リフレッシュできるようにして欲しい。施設改善については検討しているのか。移転後は休憩室を作るべきである。

2. 学校関係者の評価が教員の評価より低い差がある項目 なし

VI 入学

VII 卒業・就業・進学

1. 学校関係者評価 2.5 以下の項目 なし

概ねよい評価であった。

2. 学校関係者の評価が教員の評価より低い差がある項目 なし

VIII 地域社会/国際交流

1. 学校関係者評価 2.5 以下の項目 なし

概ねよい評価であった。

2. 学校関係者の評価が教員の評価より低い差がある項目

VIII-2 地域社会のニーズを把握する手段、学校から地域社会へ情報を発信する手段を持っている。(差-0.01)

VIII-3 地域の特徴を把握し、地域内における諸資源を学習・教育活動に取り入れている。(差-0.01)

子どものお仕事体験、高齢者、子どもに対してのふれあいを通してのプログラムを増やす(老人クラブ、保育園、スーパー等)

時代に合わせ実習先を新たに開拓する必要もあるのでは？

## 令和6年度学校関係者評価課題と対策

### I 教育理念・教育目的

I-5 教育理念・教育目的は、社会的ニーズ・学生の背景の変化・医療及び看護学の発展などを踏まえ、社会に対する看護の質を保障するに妥当である。(差-0.2)

学生の背景多様化への対応も検討が必要では？

- ・現段階では、問題を抱えている学生に対し、主に個別相談、指導に当たっている。情報共有は、本人の了解を得て行っている。

### III 教育課程経営

III-14 教員の自己研鑽システムを整えている。(2.3)

III-15 教員の相互研鑽のシステムを整えている。(2.3)

- ・専任教員の研修計画：12月に受けたい研修の希望を聞き、次年度の計画に生かしている。
- ・今年度からは、業務分配し、必要と思われる研修に参加する体制を整え、実際に行っている。
- ・研修の報告は、回覧し、内容を共有するようにしている。伝達研修を企画する。
- ・オンラインの研修も積極的に取り入れていく。

III-21 学生に対する安全教育・安全対策を計画的に行っている。(差-0.03)

安全教育の時間は確保されていると思うが対策はどのようにされているか？

- ・医療安全講義
- ・看護技術取得の上で、演習等で、安全に実施するために、繰り返し意識して実施するようにしている。
- ・演習、実習の中で、安全に実施できたか、振り返りを行っている。

### IV 教授・学習・評価過程

IV-1 講義担当科目・単元は、そのままとまりの考え方を明確にし、授業科目目標との整合性をもっている。(差-0.03)

非常勤講師の立場からは他の関連する単元との整合性が見えづらい。

- ・講義依頼時に、カリキュラム構造図を添付し、担当していただく単元の位置づけを確認できるようにする。または、図を使って講義依頼時または初講時説明する。
- ・講師会議で考え方を説明していく。



## V 経営・管理過程

V-12 学生及び教職員にとっての福利厚生設備を整備・改善している。

限られた空間ではあるが、学生にも教職員にも交流したり、リフレッシュできるようにして欲しい。施設改善については検討しているのか。移転後は休憩室を作るべきである。

- ・自動販売機の増設や使用していない時間の教室の使い方などを工夫していく。
- ・移転後の設備についても検討していく。

## VIII 地域社会/国際交流

VIII-2 地域社会のニーズを把握する手段、学校から地域社会へ情報を発信する手段を持っている。(差-0.01)

VIII-3 地域の特徴を把握し、地域内における諸資源を学習・教育活動に取り入れている。(差-0.01)

子どものお仕事体験、高齢者、子どもに対してのふれあいを通してのプログラムを増やす(老人クラブ、保育園、スーパー等)、時代に合わせ実習先を新たに開拓する必要もあるのでは？

- ・オープンキャンパス・HP・健康まつり参加、地域行事のボランティアに参加する。
- ・地域・在宅実習(1年次)において、地域住民をゲストスピーカーとして呼び交流する。
- ・新カリの実習で開拓中である。
- ・障スポにもボランティアでの参加を検討している。